

第32回

関市私の主張大会

「第32回関市私の主張大会」が2月8日、市役所で開催されました。これは市内の中学2年生が、学校生活や日常の体験から自分の考え方や生き方、将来の目標などについて意見を発表するものです。この日は、市内の全中学校から各校代表11人が集まり「私の主張」を発表しました。

発表後、同大会の生徒運営委員長から、はじめをなくし相手に対する思いやりの心を持つために「あいさつ」と「話し合い」を実行していくことについての提言がなされました。ここに、発表者の「私の主張」の要旨を紹介します。

(発表順、敬称略)

◆照会先 学校教育課 ☎23-8125



心が温まる言葉と心につきささる言葉

下有知中学校

後藤

華奈

私は、人を傷つける言葉が気になり、相手にかける言葉で悩んでいました。そんな時、はじめに關する講演会で聞いた言葉をきっかけに「心が温まる言葉と心につきささる言葉」について、体験をもとに自分なりに考えました。そして、言葉には大きな力があることを実感しました。これからは、言われて心が温まる言葉を意識して発していきたいと思っています。

見つけたもの

武儀中学校

粥川

楓日



10月下旬に行われた職場体験学習で私は夢を見つけました。それは、保育士になることです。子どもたちの成長を願う先生たちの姿に私はあこがれを持ちました。しかし、この体験を通して自分の課題も見つけました。困っている仲間やさびしい仲間に向けて視野の広さを持つことです。この点を意識した学校生活を送り、夢を実現していきたいと思えます。

温かい地域

洞戸中学校

長屋

翔太



「洞戸はいいところだ。」という言葉の意味を、福祉施設訪問や近所の方との会話から考えることができました。洞戸のよさは、誰にも気軽に温かく声をかけあえるところだと思います。今まで地域の方々が進み上げてきてくださったこの温かさを壊さないよう、明るいあいさつなどで私たちがよさを受け継ぎ、よりよいものにしていきたいと思えます。



本当のボランティアとは何か

武芸川中学校

石塚

百夏

最初は何となく参加していたボランティアでしたが、仲間の参加する姿から形だけのボランティアになっていくことに気がつきました。その後、真剣に取り組みましたが、まだ自分のためにボランティアをやっている気がします。ボランティアの活動を続けながら、本当のボランティアとは何かを追求していきたいと思っています。



秘密の力

小金田中学校

酒向

正都

野球部のキャプテンを務める私は、チームをまとめていく中で「笑えない」という苦しい場面にもぶつかることがあります。そんなとき、怒ってばかりや、仲間に遠慮した上辺だけの笑顔ではなく、仲間のよさを見つけた「心からの笑顔」で接していくことを学びました。笑顔には秘密の力があると思います。



自信をもてた仲間の一言

富野中学校

杉山

瑞奈

6人だけのバレー部。練習の厳しさや、勝てない悔しさ、上達しないもどかさなどから、投げやりな気持ちになっていった12月までの私。
しかし、仲間の一言や、試合の時に必死にボールを追う仲間の姿から、私は自分の弱さに気づきました。これから先もつらいことはあると思いますが、次は私が仲間を励まし、共に頑張っていきます。



家族に伝えたいこと

旭ヶ丘中学校

渡邊

こころ

なかなか家族に自分の思いを伝えられないことがあります。でも伝えることは大切だと思うので、母とのコミュニケーションとして、一緒に食事をすることにしました。そして、家族という一番近い存在だからこそ、当たり前のようにしてもらっていることに感謝し、大切にしていきたいという気持ちを忘れず、これからも生活していきたいと思っています。



わたしと板取と絆

板取中学校

長屋 亜由美

わたしは板取が大好きです。それは「地域の絆」が強いからです。登下校でのあいさつやふれあい運動会など人口が少なくても多くの関わりがあります。しかし、そんな板取も少子高齢化が進み、住民の半数以上が高齢者の方となりました。わたしは故郷の板取を元気にするため、地域の方とたくさん関わり、「地域の絆」をより強いものにしていききたいと思います。



“障がい者”なんて言葉はいらない

—ぎふ清流大会の表彰式にて—

緑ヶ丘中学校

山田 大雅

ぎふ清流大会のボランティアに参加し、障がいのある人と自分とは何も変わらないことに気づきました。この経験から「障がいばかりではなく、その人をありのままに見つめたい」と強く思うようになりました。これからは「障がい者」という言葉で区別するのではなく、ありのままの一人ひとりを大切にできる社会を作りたいと決意しました。



あなたの『長所』はどこですか？

桜ヶ丘中学校

赤星 雪菜

「今度は、小さく産んでほしい。」小学生のときに母に言った言葉。背の高さが出会わせてくれた、空手。背が高い子は空手向きだと言われて、一生懸命練習しました。そして、全国大会に出ることができ、背が高いことは長所だと思えるようになりました。今なら母にこう言います。「大きく育ててくれて、ありがとう。」



成長するために

上之保中学校

加藤 紘

僕は、中濃ファイターズの野球チームでキャプテンをしています。監督の「キャプテンはチーム全体を見て動け」の言葉をきっかけに、どうしたらよいか悩み、考えました。そして、自分なりに答えを出し、行動で示し頑張りました。少しずつ仲間やチームの様子が変化していき成長することができました。キャプテンを通して学んだことをこれからも大切にしていきたいと思っています。